

多様な地域情報が集まる

ぶしみんな メディアパブ スタジオ

若者たちで賑わう伏見青少年活動センターロビー。

そこに誰でも気軽に動画配信ができる

「ぶしみんなメディアパブスタジオ」があります。

今年の3月、関西のUSTREAM番組を表彰する

「関西 USTREAM AWARD」で、

このスタジオの取組みが評価され、

地域情報部門大賞を受賞しました。

また、4月にはNHK京都テレビの

「京いちにち」の中で番組制作のようすが

大きく紹介され、問い合わせが増えています。



地域情報部門大賞を受賞！

スタジオがオープンしてから、サポーターが中心となり、2つのレギュラー番組を放送しています。それが地域情報部門大賞を受賞した「ユースドリーム」と「人財ZAKUZAKU」です。これらの番組は、人に焦点をあてた地域情報を生み出しているという点で高く評価されました。

写真は4月12日木曜日、今年度1回目の配信のようすです。まずは、17時からの「ユースドリーム」。この番組は高校生や大学生が企画、配信するものです。この日の番組では取材にきていたエスエス京都のキャスターが急ぎよ飛び入り出演することになり、高校生サポーターの「高校生のときの夢は？」という質問に即興で答えていました。作り込まないありのままの姿を伝えられるのが USTREAM の魅力の一つです。

18時からは「人財ZAKUZAKU」。これは、伏見にゆかりのあるユニークな人々たちをインタビュ形式で紹介する番組で、この日のゲストは伏見で活躍するバラ職人、奥田容彦さん。無農薬でバラを栽培し、「食べられるバラ」や「青いバラ」を作る全国的にもすぐ有名な人です。実物のバラをカメラの前に置き、アレンジメントをしながらバラの説明をする奥田さん。インタビュアーを務めたサポーターの吉村智樹さんは「伏見にこんな素晴らしい人がいたことを知らなかった」と驚いていました。普段は出会うことのない地元のユニークな人々たちをこうして発掘していくのが「人財ZAKUZAKU」のねらいです。



ぶしみんなメディア パブスタジオって？

「ぶしみんなメディアパブスタジオ」とはインターネット上で動画を生配信できるスタジオの名称です。「スタジオ利用」「機材貸出」「初心者サポート」を無料で提供しています。

このスタジオが誕生したのは約1年前、インターネットに詳しい人や映像カメラマン、メディアに関心のある人たちが来て、楽しい議論の末にスタジオ構想ができあがったのです。

「リアルに人と人をつなぐ装置」としてのスタジオ。「動画発信を通じて、人と人がつながり、地域のネットワークが形成されていく」それがスタジオの理想です。イングリッシュパブのように、誰でも気軽に出入りできてつながれる場所という意味を込めて、それは「メディアパブ」と名づけられました。

スタジオの運営は「レギュラー番組の配信」「スタジオ利用者のサポート」「スタジオの広報」などをさまざまな人が担当しています。



たくさんの人と物が 紡がれていく 地域の拠点に！

この一年間、番組を通じていろんな人や情報と出会うことができました。きっと伏見には魅力のある人や文化がまだまだ埋もれているはずです。多くの人がさまざまな情報を発信することで、地域の文化や風物に光があたり、たくさんの人、いろいろなものが紡がれていきます。その情報発信の拠点として「ぶしみんなメディアパブスタジオ」が機能していければと思っています。